

# やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

誌名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	23 / 2008 / 50
タイトル	サケの遡上今年は少なかった (天田内川 2007 年の記録)
著者名	五十嵐豊

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

## サケの遡上今年は少なかった (天田内川 2007 年の記録)

第 6 代 五十嵐 豊

三年続けて大量に遡上し、今年も期待した天田内川のサケの遡上でしたが、今年は少なかったようです。

初見の日が、2004 年が 10 月 12 日、05 年が 9 日、06 年が 17 日でしたので、今年は 10 月上旬から気をつけて見ていたがなかなか遡上が見られず、ようやく 30 日になって河口から 1.3km 上流の軌道跡道路下(軌道橋)で 2 匹見つけたのが最初でした。31 日は 0、11 月 2 日 5 匹、3 日 0、4 日 2 匹、5 日は河口から岡町の入り口まで見たが 0 でした。6 日 1 匹、7 日 4 匹、8 日 1 匹、9 日 5 匹見られたものの、10 日は 0 で、軌道橋の段差が解消されたことで、サケはさらに上流に遡上したようでした。11 日は公園、船岡橋で 8 匹見られたものの、その後の記録的な豪雨(100 年に 1 回とか)で 12 日の川は、改修路一杯の濁流(写真 1)になった。濁流は 13 日もつづき、この間サケはどうしていたのか気になった。しかし、水が引いた 14 日は 8 匹、15 日 3 匹、17 日 10 匹見られた。サケはあの濁流にどこかで耐えていたらしい。18 日から 20 日までは降雪で観察できなかったが、21 日 2 匹、23 日 9 匹、25 日 16 匹、27 日 9 匹と遡上はやや多くなり、29 日は今年最多の 27 匹が観察された。

12 月に入って 2 日 6 匹、4 日 8 匹、6 日 1 匹、7 日 4 匹、8 日 11 匹、10 日 10 匹、13 日は河口から軌道橋まで詳細に調査し 4 匹と死骸 36 匹を見つけた。11 日頃から河口で浚渫工事が始まったので、今年の観察はこれで終了した。

今年はこの 3 年間に比較し最小の遡上であった。最多の観察数が、昨年(06 年)は 11 月 28 日の 170 匹以上、一昨年(05 年)は 11 月 17 日で 100 匹以上(04 年はあまりに大量の遡上のため数は数えられなかった)だったのに、今年は 11 月 29 日の 27 匹が最多であった。延べ観察数も昨年は 763 匹、一昨年が 491 匹に対し今年が 160 匹、死骸の数も最多が昨年は 163 匹、一昨年が 105 匹に対し今年が 36 匹であった。

これらのことから、今年の遡上は一昨年の半分、昨年の四分の一程度の 100 匹前後だったと思われる。しかし、稚魚の放流も無く、まして自然での孵化も考えられない川で、今年も遡上が見られたことは嬉しいかぎりであった。

川の改修はこれからも続けられるようで、今は軌道跡道路で新しい橋の建設が進められている。この改修が上流どこまで進むのかわからないが、少なくとも水路が改修され、自然に近づく川になってほしいと思う。

(07.12.14 記)



[写真1] 記録的豪雨直後の天田内川  
(2007 年 11 月 12 日)



[写真2] 通常の流れに戻った天田内川  
(2007 年 11 月 25 日)



[写真3] 濁流に耐えたサケ  
(2007 年 11 月 25 日)